

# 弦楽合奏部が東北ボランティアを行いました！

8月19・20日の2日間、弦楽合奏部が大船渡市を訪問し、ボランティア活動を行いました。この活動も今年で5回目。「被災地のためにできることをしたい」という思いのもと、中学2年生から高校2年生まで15名が集まりました。

1日目は大船渡市立博物館を訪れ、4年前のあの日何が起こったのか、また時間を追うごとに様変わりする被災地の様子を、写真展を通して学びました。ニュースなどでは知ることはできなかった、当時の市役所の様子や、1枚の写真に込められたドラマを伺い、生徒たちはメモを取りながら熱心に聞いていました。

2日目は大船渡市役所を訪れ、大船渡市長の戸田公明さんのお話を伺い、大船渡市の復興事業の現状を学びました。質問を受けていただくことができ、私たちに何ができるのか、災害に合った際に何を気をつけなくてはいけないのかなどを知りました。

市役所を後にして、特別養護老人ホーム『成仁ハウス百年の里』と大船渡北地区サポートセンターの集会所で、「アイネ クライネ ナハトムジーク」「Viva la vida」「Kanon」「上を向いて歩こう」など演奏させていただきました。それぞれ約1時間という短い時間でしたが、曲によっては手拍子をいただいたり、アンコールしていただいたりなど、逆にこちらが元気をいただきました。

2日間という短い間でしたが、被災地の方の暖かな心に触れて、生徒たちは「自分たちが被災地の方のために、誰かのために何ができるのだろう」という考えを深めることができました。

